

情報処理概論 Q&A

Q 厳しく細かいところを見ていくと、文の最後の句読点がなかったり 2 ページ目がなぜか 9 行も改行されていたり、7 段落目の文字が切れていたりしている。

A それがいいか悪いかということよりも重要なことは、何故そのようなことになったかです。その部分を追求しなくてはなりません。

Q マイナスとなる部分は、ページ数の違いである。提出前にも、3 ページ目ができたことを不思議に思い、もう一度繰り返し作業をしてみたが原因は分からず同じく 3 ページ目ができてしまった。解説を見てみても、操作方法に間違いはなく、なぜそうなってしまったのか分からない。

A このようになった原因は、最初で紙の設定は B5 を横方向に使った状態になっています。従って、レイアウト においてサイズを A4 に、印刷の向きを縦にする必要があります。この辺、解説を見るだけでは分からないかもしれませんが、講義でも申し上げたように、実際に解説に沿って自分で操作をしてみれば分かると思いますよ。

Q サイズ(S): のボックスで値を入力するときは半角の数字で入力するのが普通である。しかし、全角数字でも行うことが出来る。講義において、半角の数字と全角の数字をパソコン内では区別していると習った。それにもかかわらず、どちらでもエラーが起こらないのは半角の数字と全角の数字とのコードを同一のものと扱うプログラムが組み込まれているのではないのだろうか。

A はい、そういうことです。この場合は自動的に変換してくれます。ただし、こうした自動変換が行われない場合もあるので、注意してくださいねということです。その辺を注意する癖が付いていると、たいした手間もかけずに使い分けられます。もう一つ問題となるのは、日本語入力システムをオフにしてやれば半角文字が入力され、それも変換等概念がありませんので最初から確定した状態で入力できます。これが全角文字や日本語入力システムをオンの状態で半角文字と打ち込もうとしても、最初は未確定状態で、確定状態にするために一度 Enter を押さなければなりません（この辺については日本語入力システムの設定などでなんとかする手立てもあるのですが、今は省略します）。そういうことから日本語入力システムをオフにして半角文字を入力するようにした方が良いだろうということになります。これは、Word のこうした操作ではたいしたことありませんが、Excel を利用する際には、トータルの手間としてだいぶ違ってきます。

Q （段落あるいは行の）先頭の文字がずれているというミスです。

Q ⑥の 3 段落を 4 段落と 5 段落の間に入れる作業は、間という表現の意図がいまいち汲み取れず結果的に 4 段落のすぐ後に改行せずに入れてしまいました。

A まず、段落という用語については⑤で『ここで言う「段落」とは Word の概念における段落である（以下、同様）。』といっています。その上で、段落と段落の「間」ですから、前の段落の直後（段落記号の直後）、後の段落の直前（空白の前）ということで曖昧さは一切ありません。

A このようになっているものがかなり多く見受けられました。原因は、段落の移動などの際、段落全体を範囲指定していなかったためです（場合によっては、それ以外の原因もあるかもしれませんが）。段落は、一つ前の段落の段落記号直後から、その段落の最後にある段落記号までとなります。段落全体の範囲指定をする際には、段落の先頭の文字（今回の課題ではこれが空白となっています）や最後の段落記号がちゃんと含まれるように範囲指定をしなければなりません。そのため、解説で示したような方法で範囲指定をする方が確実に行えます。逆にちゃんと段落全体（ここでいう段落が、文法的な意味での段落ではなく、Word の意味での段落であるということを意識しておくことは重要です）が範囲指定されていないと、空白や段落記号が残ったり、移動先になかったりして文章が乱れてしまいます。

Q どの様な場面でクリップボードを利用するのか知りたい。

A クリップボードを使っているというのを実感するものとしては、今回行ったように、同じものを何度も張り付ける場合などでしょうが、日常的にもコピー、あるいは切り取りを行って（イエローブックでは何度も述べていますが、リボンを使おうが、右クリックから行おうが、あるいは Ctrl+C などとしてようが全て同じことを行っているだけです）貼り付けるという操作ではクリップボードが使われています。

Q ⑩の工程で <中略> 文字化けという概念がわかりませんでした。

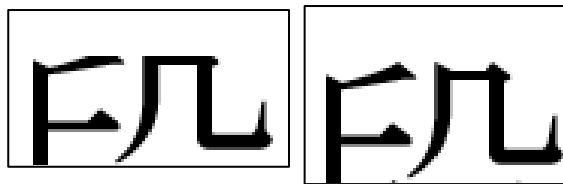
A 文字化けではありません。文字欠け、つまり文字が欠けてしまうということです。文字欠けということに関しては、p.49の練習問題で行間を固定値の6ptにすると「文字が欠けて読めないものになってしまう」としています。

Q 答えの11番目に記載されている、「ウィンドウの大きさは最大表示としておくとよい」という部分のウィンドウが何か分からなかったのですが、ここはどのようなことなのでしょう。教えていただけると嬉しいです。

A Word そのもののウィンドウです。表示倍率を拡大すると、行の一部分しか表示されず、文字欠けが発生しているかどうかを確認するのに（ちょっとだけ）面倒かなと思います、このように記述しました。ただし、この質問をされた方の場合、そもそも表示倍率をフォントの文字幅に関する倍率と間違ってしまったため（他にもこれを間違えた人は何人かいました。表示倍率については p.35 で説明しています）、余計に訳が分からなくなってしまったと思われる。

Q 最後に疑問点を挙げる。7番目の段落の行間を、字が欠けない範囲で可能な限り狭くする際に間隔のボックスの値を10ptにすると文字が欠けると記述されているが、どこが欠けたか分からなかった。私は9.8ptで作業を行ったが、印刷をしても文字が欠けているようには見えなかった。ここは少し疑問に思った。

A この方の文書を拡大し、「段落」の「段」の字の部分が右図左です。一方、行間をもう少し広くした場合は右図右です。文字の上の方がちょっとかけているのが分かるかと思います。



ただし、実際に印刷してみると、実はこの場合は右図左の文書でも文字欠けは見受けられません。この辺は、かなり微妙な話で、最終的には印刷してみないと分からないということなのですが、その辺もフォントやプリンタによっても違って来るかもしれません。

Q ヘッダーの日付は本来1ページ目,2ページ目の両方に書く必要があったが,私の答えは1ページ目の記述が抜けていた。ヘッダーの設定時に先頭ページのみ別指定をクリックしてしまった可能性がある。

A 確かにこの方のヘッダーの設定は先頭ページのみ別指定となっています。単にそれだけのミスならばそれ程大きな問題とは思いませんが、提出された総合練習の結果を見ると、そうせざるを得ないから行ったのではないかと思います。すなわち、ページ番号の部分でページ番号の設定機能を使うのではなく、数字そのものが入っていました。これでは1pageと2pageにならないので、先頭ページのみ別指定としたのだらうと推察されます（同様に 奇数/偶数ページ別指定 としている人も見受けられました）。

Q 前々回フッターにページ番号を挿入するときに、ページ番号がすべてのページに同じ数字になってしまい、どうしたらよいか分かりませんでした。テキスト通りに行ってもダメでした。どのようにしたらよいでしょうか。

A テキスト通りに行ってもダメとのことですが、p.46の「ページ番号の挿入」で書かれたようにやってもできなかったということでしょうか。それと、総合練習解説の⑩でも具体的な方法が示されています。ただし、今回の課題ではできていますが、解決したのでしょうか。

Q 半角のスペースを入れると変な記号が表示されるのがわかりません

A これって、p.51で述べている編集記号が表示される状態にすると「全角の空白は□、半角の空白は・で表示される」のことではないでしょうか。

Q 4番目の段落下から3行目の「わかっていますね」という部分の下に青の二重線をつけてしまったことだ。

A これは操作ミス等で付いたものではなく、本来は「わかっていますね」とすべきところが「い」抜き言葉になってい

ますよというお節介を、Wordの方が自動的に行った結果です。青の線は印刷時には印刷されませんし、表示で気になる場合は右クリックで「無視(I)」を選択すれば消えます。

Q ダウンロードした MONDAI 1 のファイルを開くと初期の状態、七番目の段落の最後に句点が二個続けて入力されています。それは直すべきものだったのでしょうか。私は直さずそのまま提出したのですが、原点対象になりますか。

A ごめんなさい。この部分はちょっと前に気付いたのですが、今更訂正版を出すまでのものでもないのに、そのままにしまいました。もちろん、この部分がどのようになっても評価の対象にはしていません。来年度版からは修正したものを使います。

Q 他人達がどれぐらいの時間で課題 4 を行ったのか平均でもいいので授業で教えていただきたいです。

A 平均所要時間ですか。これは全部のレポートを見て、集計しなくてはならないので、できたらやります。

Q 座学の講義に関しては、多少ポイントが分かりにくいのではないかと、というのが私の意見である。永井教授の説明は理解しやすいのだが、結局どれを覚えなければいけないのか曖昧で、講義後に「これは果たして全部覚えるべきなのか」と思うてしまうことが何度かあった。

A 小テストなどで少しは分かる点もあるかと思いますが、ポイントはどれを覚えれば良いかではなく、それがどのようになっているのか、どういう意味を持つのか、周りとの関係はどうなっているのかなどをしっかりと理解することです。これをまずはしっかりと行ってください（そのためには、ある程度の復習は必要と考えています）。この理解ががしっかりできれば、後はポイントを押さえる程度で、試験には対応できると思います。逆に、私の方の意識としては、丸暗記では対応できない問題をいかに作るかにあります。

Q 学務情報システムは、講義を登録するときなどに、いっぱいタブを開くと切れたりすることがかなりあって、これがかなりストレスになります。

A 講義登録の際に、そんなにたくさんタブを開く必要がありますか。それは結構負荷になるかもしれませんね。もう少しシンプルにやれば大丈夫だと思うのですが。

Q 学務情報システムについては、<中略> 履修登録のときになると重くなり、サイトに入ることすらできないときがある。それへの対策として履修登録の期間は30分の使用しかできないが、それでも使用後にログアウトせずに放置している人が少なからずいると思う。そのような人のせいで本当に使用したいひとが使用できないのはどうかと思うので、違う対策を講じてほしいと思う。

A ログアウトの徹底ということはもう少し訴えてもよいと思っているのですが、あんまり真剣にやっている雰囲気はないですね。それ以外ですと、抜本的にはハードの整備により処理速度の向上というのがあるんでしょうが、これはかなり金がかかりますし、本当に一時だけ混み合うという状況ではなかなか難しいという感じです。ただ、これがいいのかどうかはともかくとして、現在は履修申請は第1回の講義以前はかなり早い段階からできるようになっていることから、早めの作業を呼びかけることによる分散化というのも考えられるかもしれません。何かの折には、こうした話を担当者に話しておこうと思います。

Q 時々図書館のパソコンを使うことがあるものの、intel core i3 だからなのか、起動に時間がかかりすぎるのが少し煩わしいと思った。

A CPUの能力はあまり関係ないでしょうね。それよりも、大学の学生用PCは企業などでも多く使われているネットワーク管理となっているものです。この場合、立ち上げ時に管理サーバとの間で情報のやり取りが必要となり、どうしてもある程度の時間がかかってしまいます。ただ、私自身もちょっと時間がかかりすぎと思います。なかなか改善は難しいかとは思いますが、何かの機会があれば聞いてみます。

Q テスト前やテスト期間になると図書館のパソコンはほぼ満席で使いにくい状況になってしまっていたので、今後は前もって計画的に学校内のパソコンを利用するようにしていきたいです。

A 図書館のパソコンの所が満席になってしまうのですか。パソコンについては、図書館が一番混み合うようですが、それ以外にも情報基盤センターや人文社会科学棟にも学生用 PC の部屋があります。更に、経済学部の学生向けには、専用のパソコンルームがあります。この辺は私の Web サイトにパソコン教室配置図がありますので見てください。

Q 課題をこなす段階で word online や ワードパッドというものを見たのですが、これは普通の word とどのような違いがあるのでしょうか。

A ワードパッドは、Windows に（無料で）附属しているワープロソフトです。最低限の設定は可能ですが、Word に比べると機能は多くありません。一方、Word Online の方ですが、これは SaaS の形で提供されるクラウド型の Word で、基本的には最新の Word の機能と同様です（Word Online の方がちょっとだけ機能は上かな）。Microsoft ではこのようなクラウドで提供される Word や Excel を総称して Office365 と呼んでいます。

Q 普段パソコンを使っていて、スマートフォンで動画を見るよりパソコンで見たほうが、動画がストップすることが少なく見やすいなと思いました。パソコンのほうが電波(Wi-Fi?)が入りやすいとかあるのでしょうか。

A 実際にどうかはちゃんと調べてみなくては分かりませんが、以下の様な可能性があります。まず、通信部分については、同じように Wi-Fi を使い、スマホとパソコンを並べるなど電波状況が同じだとしてもパソコンの方が速い場合があります。それはアンテナの関係です。例えばスマホではアンテナが 1 本しか内蔵されていないのに対し、パソコンでは（空間の余裕があるので）複数本のアンテナが使われている場合があります。通信速度はアンテナの数に比例すると考えても良いでしょう。通信以外の原因も考えられます。処理速度は当然パソコンの方が上ですし、動画などの場合は、あらかじめある程度の情報を先読みして蓄えた上で（バッファと呼ばれる機能です）再生せいでいます。このバッファの容量がパソコンの方が大きいので、それで止まりにくいということもあるかもしれません。

Q 手順に明確には書かれていない用紙のサイズと向きが違っていることに気づきました。

A 他にも同様の指摘が散見されたのですが、「③ 用紙はA4を縦に使うようにする（たてがきではない。）」と明記してあります。

Q ④では一行目を範囲指定する際に、文字列の先頭からその文字列の最後まで左ボタンを押しながらマウスポインタを移動しドラックする方法をとってしまい時間をとってしまった。この原因はこの方法が一番単純で他の方法を覚えずとも全て出来てしまう為、他の方法を覚えなくてもいいという甘えから生じたと考えた。

A この方の結果を見ると、④では問題ないのですが、⑧でフォントの指定をする際に、2番目の段落の最初の方でフォントの指定がなされていませんでした。たぶん、範囲指定がちゃんと行われていなかったからだだと思います。段落の範囲指定をする際の方法を解説で述べていますが（もちろん、イエローブックの本文でも）、こうした方法は効率性と共に（と言うか、それ以上に）段落全体を正確に範囲指定する上でも重要です。

Q ⑤は文字列を範囲指定し、マウスの右クリックで出てきた表示から切り取りを行った。これは解説のやり方とは違うが、⑦の操作でクリップボードに記憶される文字列は更新されるので問題はなかったと思う。

A 確かに Word の場合はこの操作で対象の文字列は削除されます。しかし、他のソフト、例えば Excel などの場合は、切り取りを行っただけでは削除はされず、その後、それを貼り付けた段階で削除されます。つまり今回のように貼り付ける必要がない場合はダメだということです。まあ、Word の場合は大丈夫だからこの方法を使うよというののも一つの考えかもしれませんが、これから様々なソフトを使うことを考えると削除と切り取りは分けて捉えた方がよろしいのではないのでしょうか。

Q 気になる点がある。それは3番目の段落が、私が提出した課題と、解答が一文字違うことだ。3番目以外の段落は、解答と同じだが、3段落が解答と違う。原因が分からないので、何が解答と違うのかがわからない。

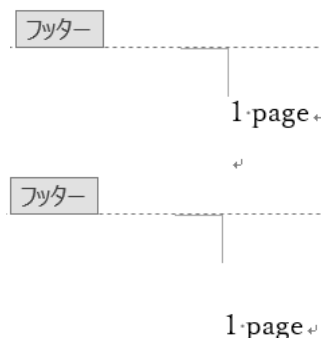
A 元々の文書では、3番目の段落の先頭には全角の空白が1つ入っています。これを、移動の際に正しく段落全体を範囲指定しなかったなどの理由から、この空白が除かれてしまった、そうすると、1文字分の字下げが行われていないので、後からインデントで1文字分の字下げを行ったのではないかと思います（提出された文書から確認できることは、段落先頭に空白がないこと、この段落の設定で1字分字下げのインデントの設定がされていることです）。全角の空白1つと1字分の字下げでは幅が少し違うため、1文字違うことになったと思います。ということで、段落の範囲指定はしっかり行いましょうということです。

Q これは疑問なのですが、先生のプリントで配布してくださったお手本と私のワープロを比べてみると、すべての段落が少しずつずれていました。文字の大きさはいじっていませんし、間隔等も指定されたとおりにやったつもりです。なぜずれてしまうのでしょうか。解説のプリントを見ていても間違っただ箇所が見つからなかったのが今回の疑問点です。

A ⑧のフォントの設定が行われていないからです。最初に行ったときに見落とすということはあるでしょうが、その後解説を見る段階でも、その部分に気付かないというのは少し問題ではないでしょうか。

Q A4に指定し忘れたことで、フッターの位置も本来よりも上のほうになってしまいました。

A これ、結構多くの方がやっているんですが、この人のフッターは右図上のようになっています（スペースの関係で左揃えにしていますが、本来は中央揃えです）。確かにフッターの位置がやや上目なのですが、これは紙の大きさをA4にしなかったということではなく、不要な段落記号が入っているからです。ページ番号の下の段落記号を削除すると、右図下のような配置となり、フッターの（上下方向の）中央あたりに配置されます。ページ番号等の位置としてはこちらの方がよろしいかと思います。



このようにヘッダーやフッターにある不要な段落記号は取り除いておいた方が良いでしょう。

Q 学務情報システムの提出先の添付ファイル名が「Word1」となっていることに提出期限後に気づきどちらが正しいかわからないが「word1」で提出してしまった。

A これはどちらでも結構です。Windows では大文字と小文字を区別しませんので。

Q PCのマークがついている演習が太字となっているのはいいのだが、文字が1ページ全体にあるような所では少し読みにくいことがある。インデントを増やしたり、あるいは演習とレクチャーのパートの前後に空行を1行挿入したりするだけでも読みやすさは変わると思う。難しいとは思いますが、ご検討いただきたい。

A あんまりページ数を増やしたくはないんですよね。フォントの工夫でなんとかかなるかなあ。細かい改訂に追われている状況で、なかなかそこまでやるのは結構しんどいですね。スタッフなどが手伝ってくれるのはならばいいんですが、完全に個人の手作業で行っているもので、ごめんなさい。

Q 授業中にも実際にパソコンに触れる時間があるとより使いこなすことができるのではないかと思う。(人数から見ても難しいとは思いますが...)

A 最近あまりパソコンの操作について講義で触れていませんが、具体的にどの部分でパソコンに触れた方が思われましたか。操作に関する説明としてはタブの説明がありました。その際、説明の前の週に「とりあえずその部分はやってみて下さい」と申し上げましたが、やってきたでしょうか。その有無でもだいぶ違ってくると思うのですが。

Q 講義について、教授の話は分かりやすいため、とても満足しています。しかしながら、初めて聞くような専門用語(例: オンプレミス)などの説明の際は、何かに例えて説明していただけると嬉しいです。

A そのようにしようとは思っていますが、でも、オンプレミスなんてのはどうでしょう。単に企業が自前のコンピュータを設置して、その上でソフトを動かして使っているということですから、例え話を入れることも可能かもしれませんが、直接の説明では分かりませんか？

Q 授業に関して、時々スライドの移動がはやい時があり、メモが取りにくい時があるので、配布されたプリントに書いていないことをスライドで表示される際は、もう少しメモをとる時間を考慮して少し時間をとっていただけるとありがたいです。

A これについては繰り返し述べているように、具体的にそのような事態が発生したときに、どのスライドでそうなったかを質問票を使ってご指摘いただけますか。一般論で言われてもなかなか対応できません。

Q 第1タームが終わり成績の確認をしたのですが、成績登録期間を過ぎても成績がわからない科目があり、とても心配です。また、授業連絡やその他の連絡と同じように、成績についても通知をしていただきたいです。

A 私の方では成績提出期限までに提出したいと思っていますが、成績確認期間となっても成績が開示されないものについては、担当の先生に問い合わせしてみてください。

Q 学務情報システムについてであるが、インターネットで検索するときに、毎度わずらわしさを感じる。理由として、「新潟大学 学務情報システム」とインターネットで検索しても、まず新潟大学情報基盤センターのホームページにアクセスしてから学務情報システムにいかねばならず、スマートフォンなどで授業教室を確認するために調べても、すぐにアクセスできないので不便さを感じる。

A 確かに検索サイトからだそうなりますね。ただ、直接アドレスを入れればダイレクトにアクセスはできますから、検索サイトからは意図的にそのようにしているという感じですね。気になるのならば学務情報システムの問い合わせ窓口 support-gakujo@ge.niigata-u.ac.jp に問い合わせしてみてください。

Q 僕がテスト勉強以外で大変だったのは、最初の履修登録だ。日程上あまり時間がとれないのはわかるが、新入生には履修登録以外にもやらなければいけないことやわからないことが多く、それについて聞くことができる先輩や友達も少なくかなり大変な思いをしたのを覚えている。したがって、今後の新入生にはもう少しだけ手厚いサポートがある

と全然精神的に楽になると思う。

A 一昨年までは、授業が開始された1週間目（つまり、全ての授業を1回聞き終えた時点）までに履修登録をすればよかったので、そうしたサポートを受けることもできました。しかし、昨年度からは基本的に初回の各講義までに履修登録をするように変更されました。履修登録を早めに行って、初回の講義から内容に入れるようになどの理由からだと思われませんが、ちょっと忙しいですよ。なんかこの辺、全体的に大学がせわしくなっているんですよ。

Q 新潟大学で自前のパソコンを使うときは常に最新のOSにしると資料に書いてある。確かにOSは常に新しいものにしたほうがセキュリティ的にはいいかもしれないが、何も考えないでアップデートするのは疑問が湧く。例えばWindowsである。このOSのアップデートは、人にやっては作業しているときに勝手に中断されて始まることで有名である。また、バグも多く、データが消えたり、ドライブを認証しなくなったりすることもあるらしい。こういったことに備えて、私はアップデートがきてもすぐには行わずに、早速アップデートをした人(人柱と呼ばれる人たち)の反応を見てからやる。重大な欠陥があったらスルーすることもできるからだ。こういう考えで、アップデートを遅らせている人もいたので、そこは許していただきたい。

A ちょっと専門的な話です。学生の多くが使っていると思われるWindows 10のHomeの場合、updateの種類を選択することができず、セキュリティ上の更新だけを行うことができません。また、エディションに対するサポート期間が18ヶ月となっていることから、これを過ぎるとサポートが提供されません。そうしたことを考えた場合、バックアップ等の対策を取った上で、updateを行っておくことを勧めることになろうかと思います。様々な情報を集め、個々に選択するのならば、それは自己責任の上で行うことでしょうし、一般の人には勧められません。

Q 新潟大学のパソコン利用は学内に無線LANポイントが多くあるので便利だと感じるが、1度接続してその接続が切れて再度接続しようとするときログインするページがでないことが多々あり、そこは少し不便に感じます。

A その辺の問題は情報基盤センターの相談窓口 question@cais.niigata-u.ac.jp にお問い合わせ下さい。